

令和4年3月定例会 あいさつ

皆さま、おはようございます。

本日ここに、久山町議会3月定例会を招集いたしましたところ、議員全員の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。

春の気配が感じられる今日この頃、いよいよ桜の開花が待ち遠しい季節を迎えています。本町は桜がいたるところで楽しめる素晴らしい町であります。今年も、コロナ禍の影響でお花見や桜を楽しむイベントの開催は難しい状況ですが、開花を待つ桜のつぼみから満開の花が咲き誇る光景を思い浮かべ、私たちの社会も同様に前を向いて進んでいきたいと思っております。

さて、昨年末から始まった感染力の強いオミクロン株の第6波は、私たちの想像を超える勢いで広がり2月上旬には全国で10万人を超え、過去最大の数となりました。今回の第6波では、これまで以上に本町にも影響が及び閉園や学級・学年閉鎖の事態が発生しています。そのような状況も踏まえ国は、子供たちの感染拡大防止を図り、新たに5歳から11歳までのワクチン接種の対象年齢を引き下げました。本町としましても、まずは10歳から11歳までのお子様に対して、接種券の配付準備を行っているところです。ワクチンの有効性や副反応など、希望される皆さまが安心して接種できるよう国や県からの情報を収集し、発信に努めてまいります。また、18歳以上の町民の皆さまへの第3回目の追加接種も進めております。現在、65歳以上の町民の皆さまは約83%の方が接種を完了しており、今後も引き続き国のワクチン供給を踏まえ接種体制の強化を行ってまいります。

年度末が近づき令和3年度を振り返ってみますと、新型コロナウイルス対策の強化を図り、アフターコロナ・ウィズコロナへの対応を行ってきた1年でありました。特に、感染予防の切り札として期待されていたワクチン接種においては、昨年4月からスタートし、最終的に町民の皆さまの約90%の接種を早期に完了しました。議会を初め、九州大学、町内開業医の皆さま、そして、エッセンシャルワーカーの皆さまのご尽力に心から感謝を申し上げます。

次に、アフターコロナ・ウィズコロナを見据えた取り組みとしましては、久山中学校特別教室棟の改修および空調設置や久原小学校特別支援室の改修など学校教育施設の整備を実施しました。

さらに、国の支援制度を効果的に活用し、町内の公共施設におけるWi-Fi環境の充実、集落内における町道舗装の打ち替え、上山田～猪野間の防犯灯の設置など町内住環境の整備を積極的に展

開してまいりました。そして、ふるさと応援寄附につきましては、チャンネルを増やした結果、前年比 8,700 万円程度の増を見込んでいます。財政面全体としても、これからの備えとして 7 億 5,000 万円の基金積立を行う予定です。このように、コロナ禍で先の見えない不安な状況ではありましたが、町民の皆さまの安心・安全に取り組みながら、新たな種を蒔くことができた 1 年となりました。

さて、新しい年度を迎えるに当たり昨今の世界的な動向を見てみますと、新型コロナウイルスのオミクロン株のまん延、そして町として抗議声明を発出したロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、緊迫する世界情勢の影響で景気回復の先行きが不透明な状況が続いています。そのような中で日本に目を向けると、令和 4 年度の国の一般会計当初予算案は、107.6 兆円という過去最大の規模となり、新しい資本主義の実現を目指した方針が示されました。

本町においても令和 4 年度は大切な 1 年であり、第 4 次久山町総合計画がいよいよスタートします。総合計画とは、これから本町が歩む 10 年間の道を描いた計画であり、これからの未来への道しるべでもあります。本町では町の基本理念として、国土・社会・人間の三つの健康づくりを軸に半世紀にわたり個性的なまちづくりを展開してきました。その結果、豊かな自然環境や田園風景を残しながらも移住定住が進み、人口も緩やかに増加しています。加えて、周辺自治体の高齢化率は上昇していますが、本町は 2017 年をピークに減少を始めました。また、財政力指数も県平均を大きく上回り、持続性の高いまちづくりとして、一定の成果を残すことができ、半世紀をかけたまちづくりの土台を完成することができました。それによって、町民の皆さまに久山町の暮らしの豊かさを実感していただく、次のフェーズに入ったと考えております。

以上のことを踏まえ、これからの 10 年後の町の将来像をだれもが生き生きと暮らせる「健康田園都市」の実現と決めました。よって、暮らしに必要なハード面も整備を行いながら人材育成や人のつながりを広げていくソフト面の充実にも力を入れてまいります。

それでは、ここから令和 4 年度予算編成につきましてご説明させていただきます。

令和 4 年度久山町一般会計予算は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 57 億 8,100 万円とし、令和 3 年度より約 15% 増となっています。歳入におきましては、固定資産税の税収は、復調の兆しを見せており、令和 3 年度から増加しているふるさと応援寄附も引き続き増額で計上しています。

しかし、経済の先行きが不透明な状況であり、町税はまだまだコロナ禍前の令和元年度当初予算までには戻っていないのが現状です。そのため、町民の皆さまの安心・安全につながるサービスを行いながら、国の交付金等の活用を積極的に取り組み、町の基金を活用しながら、景気対策および投資的事業を同時に行っていく予算編成としました。

また、令和4年度における第4次久山町総合計画の実現に向けた主な取り組みとして10の事業を設定し、予算化を行っています。

1番目は、新型コロナウイルスワクチン接種への対応です。新型コロナウイルス感染症予防対策の要とも言えるワクチン接種につきましては、対象となる子供たちへのワクチン接種や、3回目の追加接種の早期完了と予防啓発に引き続き力を入れてまいります。

2番目は、山田小学校の大規模改修工事です。懸案事項でもありました山田小学校の大規模改修に着手し、子供たちの安心・安全な教育環境の充実を図ります。

3番目は、学校橋の災害復旧工事に着手します。昨年8月の大雨により橋脚の一部が倒壊した学校橋につきましては、令和4年度で橋の撤去および新しい橋の橋脚工事に取りかかります。令和5年度の1日でも早い完成を目指してまいります。

4番目は、プレミアム付き商品券事業の実施です。アフターコロナに向けて経済の活性化は必要不可欠な要素であり、令和4年度も引き続き20%のプレミアム付き商品券事業を行うことで経済対策を図ってまいります。

5番目は、次世代就農者の育成事業です。久山町の田園風景を維持するために多様な働き方を見据えた次世代の就農者育成・確保に向けた取り組みを推進します。

6番目は、町民図書館への電子図書館の導入です。コロナ禍における新たな生活スタイルに対応するため電子図書館を導入し、町民ニーズに即した読書活動の充実を図ってまいります。

7番目は、子育て世代をつなげるプロジェクトです。コロナ禍により交流が減り、子育て世代の孤立化が懸念されています。そのため、住民ニーズが高い公園づくりをテーマとしたワークショップを開催しながら、子育て世代などのつながりをつくってまいります。

8番目は、久山中学校図書館リニューアルプロジェクトです。久山中学校生徒が、プロのデザイナーや地域住民と交流しながら、これからの学校図書館の在り方などを生徒同士で考え学び合うこ

とで、久山中学校ならではの図書館づくりを行います。

9番目は、久山てらこや<sup>+</sup>（Plus）です。昨年12月に協定を結んだ福岡デザイン専門学校と連携して、久山の子供たちの将来の可能性を広げる人材育成プログラムを展開します。

10番目は、DXの推進です。社会の急激な変化により発生する課題や多様化する町民ニーズに対応していくため、まちづくりや行政運営にデジタルトランスフォーメーション、DXの推進を行うと同時に役場職員の人材育成にも力を入れてまいります。

以上が令和4年度の予算編成方針における主な事業です。なお、社会情勢や経済動向に注視し、状況の変化に柔軟に対応できる組織体制の構築を進めてまいります。そして、最後にご報告です。先月2月末に、一般社団法人日本計画行政学会主催、第19回計画賞の最終審査が日本大学で開催されました。その審査において自治体を初め、国土交通省や大学などの応募団体の中から本町の空き家を活用した地域交流型シェアオフィスそらやの取り組みが認められ、優秀賞を受賞いたしました。審査で評価された点は、地域の自主性が生まれ経済効果も高く、持続性がある先進的な取り組みであり、他の自治体の参考となるモデルであるという内容でした。そらやの取り組みは、人と人が顔を合わせ、対話を行いお互いの距離が縮まってきた実例であり、公共サービスを行っていく上で基本的な考え方であります。今後も多様なニーズ、価値観を持つ住民の皆さまお一人、お一人に向き合うことを大切にまちづくりに邁進してまいります。

何卒、議会の皆さまには引き続きより一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本定例会にご提案します案件は、令和3年度補正予算、令和4年予算など19件の議案でございます。

詳細につきましては、各担当課長がご説明いたしますので、ご審議のほど重ねてよろしくお願い申し上げます。

令和4年3月4日

久山町長 西村 勝